

令和 7 年度 IR 方針について

本学園では、IR(institutional research)活動として、教育・経営・財務情報を含む学園内外の様々な情報やデータを分析し、戦略計画の策定、大学等の教育プログラムのレビュー点検など実施しています。令和 7 年度は以下のとおり IR 方針を定め、学園運営の意思決定、教育改善・教育改革に繋げることを目指します。

1. 部門等のリクエストに応じたデータ集計と分析活動

経営企画室では、各部署のリクエストに応じ、具体的な協議を実施した後に、データ集計・分析結果等の学園運営の意思決定や教育改善・教育改革に資する一定の成果物を作成し、依頼部署に提示します。

2. 継続的な IR データの集計・分析・報告の実施

学園ダッシュボード等を定期的に策定し、学園主要会議体に各種の計数状況の報告を行い、学園の意思決定に繋がる活動を継続します。

3. IR 情報のデータベース構築

本課題については令和 6 年度から様々なシステム検証を進めていることから、中期システム計画の最終年度として IR データベースを完成させるとともに IR データベースを活用した学園 IR 活動の実運用を図ります。

4. 経営の求める情報と分析データの提示と参画委員会への分析情報提示

前年度と同様に理事長、学長さらに各種委員会に学園情報のデータ分析結果や外部情報を積極的に提示し、学園の意思決定をサポートします。特に入学定員の確保に向けたデータの検証・分析を実施し、学園の問題解決に寄与します。

5. 第 3 次中期計画未達項目の改善に向けた分析データ及び改善策の提示

令和 7 年度は第 3 次中期計画も最終年度を迎えるため、経営企画室では主要目標の進捗について適切に報告を行うとともに、目標達成を目指した改善策を提示するなど、問題提起に終わらぬ活動を展開します。

さらにアセスメント・ポリシーに掲げるアセスメント指標を活用した分析を進めるとともに、第 4 次中期計画策定に向けた基礎データの整備に努めます。